

## 1 平成 22 年度予算の考え方と規模

### <平成 22 年度予算編成方針>

平成22年度の予算編成に当たっては、いぜん厳しい財政環境の中ではありますが、経常収支の均衡を図るべく経常収入の確保と経常経費の縮減を図るとともに、投資的事業の精査・重点化などの財政健全化の取り組みを推進しつつ、地域経済や町民生活に目線を合わせた政策の選択を心がけ、第5次斜里町総合計画を着実に遂行するために、施策・事業の緊急性や必要性を厳しく精査した上で、行政の役割を再確認しながら限られた財源の効率的・効果的配分に努めたところです。

### <平成 22 年度地方財政計画の概要>

平成 21 年 12 月に国が示した地方財政対策は、地方税収入や地方交付税の原資となる国税収入が引き続き落ち込む一方、社会保障関係費の自然増や公債費が依然高い水準であることなどにより、財源不足が過去最大の規模に拡大するものと見込まれる中であって、地方が自由に使える財源を増やし、地方公共団体が地方のニーズに適切にこたえられるよう、当面の地方単独事業等の実施に必要な歳出として既定の加算とは別枠で「地域活性化・雇用等臨時特例費」を計上するなど、地方交付税を 1.1 兆円増額し、地方一般歳出を押し上げてはいるものの、地方財政計画の規模は前年度比マイナス 0.5%と、昨年引き続き減額となったところでもあります。

また、この財源不足分を国と地方が折半して補填することとしており、地方負担分については、臨時財政対策債により補填措置を講じたところでもあります。

次に、地方一般財源総額については、地方税収入が前年度に比べ大きく減小する中で、地方交付税については、「地域活性化・雇用等臨時特例費」の創設による別枠加算などにより、地方交付税の総額は前年比プラス 6.8%の増、臨時財政対策債を含めた実質的な地方交付税の総額は、前年比プラス 17.3%の増となっており、地方一般財源総額ではプラス 0.6%の増と一定の水準は確保されたところでもあります。

しかしながら、景気後退に伴う地方税等の減収により、不交付団体から交付団体への流れを想定するとき、地方にとっては、依然として厳しい財政環境にあり、より一層の効率的な行財政運営に心がけることを基本に、予算編成を行ったところでもあります。

## 〈平成 22 年度斜里町の予算規模〉

こうした基本的な考えをもとに編成した、平成 22 年度の予算は、一般会計の歳入面については、景気後退に伴う給与所得の減少や法人町民税の減収から、町税全体ではマイナス 0.5%の減額が見込まれる一方、地方交付税は、国の地方財政拡充策として「地域活性化・地域雇用等臨時特例費」が創設されたことなどから、前年度交付額のプラス 0.1%とほぼ同額としたところであり、地方交付税と一体で措置される臨時財政対策債については、地方財政計画で示された発行可能額が大幅に増えており、普通交付税と臨時財政対策債を合わせて、前年度交付額のプラス 5.2%の増と見込んだところであります。

歳出面では、大型事業である「新一般廃棄物処理施設整備事業」が今年度より施設建設へ向けて着手していくことや「斜里中学校耐震補強改修事業」についても校舎及び屋体の耐震補強工事のため、実施設計を行っていきます。

その他、住民との協働のまちづくりをめざす「まちづくり 1%支援事業」、地域経済の活力に配慮した「産業活性化対策事業（地場産業活性化チャレンジ事業・知床しゃりブランド推進事業）」や、「プレミアム付商品券発行助成事業」、安心して暮せる生活環境をめざした「畑作緊急構造対策支援事業」、健やかで思いやりのある福祉社会をめざした、町立国保病院による予防接種、検診事業における「肺炎球菌ワクチン接種事業」などを計上し、当初予算額 78 億 7,990 万円で対前年度当初比プラス 11.5%の増となったところであります。

特別会計では、6 会計合わせて 35 億 3,615 万 2 千円で、前年度比マイナス 0.4%の減でありますが、これは介護保険会計（保険勘定分）における利用者の増に伴う給付費の増と、後期高齢者医療会計における広域連合への保険料負担金の増等による増額があるものの、国民健康保険会計における老人保健医療費拠出金が一昨年の老人医療制度の廃止により減額となることやウトロ地区の工事費の減に伴う下水道会計の減額が影響したものであります。

また、企業会計では、病院、水道事業会計合わせて 24 億 5,381 万 7 千円となり、前年度比でマイナス 11.7%の減となったところであり、水道事業会計におけるウトロ簡易水道浄水場施設整備の完了など建設改良事業費の減額が大きな要因となったところであります。

全会計を合わせた予算総額では、138 億 6,995 万 9 千円で、前年度当初予算に対し、4 億 7,506 万 1 千円の増で、プラス 3.5%の増額予算となったところであります。